



深江中学校だより

令和4年11月25日

第10号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

県中総体駅伝大会

11月10日(木)にトランスコスモススタジアム長崎で、県中総体駅伝大会が開催され、本校の女子チーム・男子チームが南島原市代表として参加しました。結果は、女子23位、男子32位でした。午前中行われた女子の部では、前半30位前後の苦しいスタートとなりましたが、根気強くタスキをつないで徐々に順位を上げ、23位でゴールしました。午後から行われた男子の部。実は、市の大会で優勝したメンバー6名中、4名が怪我や体調不良で参加できない中、それまで控えだった選手が懸命の走りを見せ、6人しっかりタスキをつないでゴールしました。男女のメンバー全員が粘り強い走りで、タスキと共にそれぞれの「思い」もつないで成し得た結果でした。コロナでコンディション調整も難しかった中、本当に、本当に、よく頑張りました！

地域の声

先日、地域の方から嬉しいお声をいただきました。お電話をいただいたその方が、車に乗って国道で信号待ちをされていた時のこと。歩行者用信号が青に変わり、横断歩道を渡った深江中の制服を着た女子生徒が、信号待ちをしていたドライバーの方々にお辞儀をしてお礼の意を伝えたそうです。その女子生徒の姿を見て、「たいへん感銘を受けた」「たいへん嬉しく感じた」ということでした。日頃から、同様の行為をしている本校生徒は他にもいると思いますが、普段何気なく行っている行為でも、周りの方々に感動を与えられているということは、たいへん素晴らしいことです。本校生徒のこのような行いが、もっともっと地域に広がるといいですね。

修学旅行(第2学年)

11月14日(月)～16日(水)の2泊3日の日程で、2年生が鹿児島・熊本方面へ修学旅行に行ってきました。コロナの影響で実施自体を心配しましたが、保護者の皆様のご理解とご協力により、何とか終わることができました。参加した2年生も、そのことに感謝しつつ、思い出に残る楽しい修学旅行になったようでした。2年生は大きな学校行事も終わり、3年生からバトンを引き継ぐ時期が迫ってきました。次年度のリーダーとして活躍できるよう、自覚を持って学校生活を送って欲しいものです。

文化面での生徒の活躍(北村西望賞・古野賞・税の作文など)

文化面でも多くの生徒が活躍しています。

右に示すような賞を、本校生徒が数多く受賞しました。紙面上掲載できなかった、特選や入選などを受賞した生徒もいます。後日、学校でも表彰伝達式で受賞者には賞状等を渡す予定です。

「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」等秋は色々なことをするのに適した季節だと言われます。また11月は、「実りの秋」と表されるように、学校では、4月以降の学校教育の成果が見える、子供の姿となって表れる、そういう時期でもあります。我々教職員も、そのことを肝に銘じて日々、取り組んでいるところです。

※第16回南島原市 北村西望賞教育美術展

- ・平面の部 優秀賞
3年 泉 希来里『mother』

※第16回南島原市 古野賞科学技術展

- ・古野賞
1年 飛永 優星『キウイのすごいパワー!!』

※税の作文

- ・日税連会長賞
3年 宮崎 悠花『ルワンダの涙』
- ・島原税務署管内納税貯蓄組合連合会優秀賞
1年 竹田 柊璃菜『税について』
- ・島原税務署長賞
1年 宮崎 美月『農家の仕事を救う税金』
- ・島原税務弘報協議会会長賞
2年 高田 愛子『身近な税金』